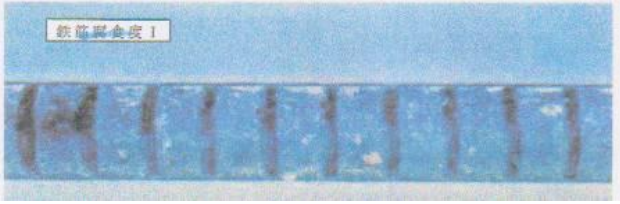

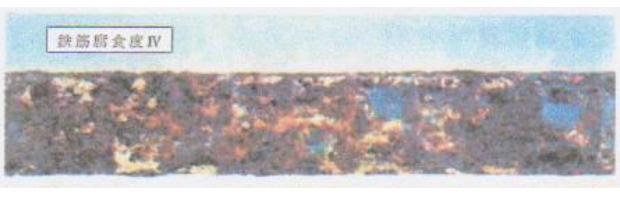


# はつりによる鉄筋健全度の評価基準

## 鉄筋の腐食グレードの分類

### (本工事採用指針)

| 評価基準 | 鉄筋コンクリート造建築の劣化診断技術指針 (1986)                     | 塩害建築物の調査・診断補修指針 (案) (1988)        | 分類写真 (サンプル)  |
|------|---|-----------------------------------|--|
| I    | 黒皮、錆は生じているが、全体に薄い緻密な錆であり、コンクリート面に錆が付着していることはない。 | 腐食がなく黒皮の状態                        |    |
| II   | 部分的に浮き錆があるが、小面積の斑点状である。                         | 表面に点錆が広がっており、コンクリートに錆が付着している状態    |   |
| III  | 断面欠損は目視観察では認められないが、鉄筋の全周または全長にわたって浮き錆が生じている     | 薄い浮き錆が広がって生じており、コンクリートに錆が付着している状態 |  |
| IV   | 断面欠損を生じている                                      | 膨張性の錆が広がって生じているが、断面欠損は比較的少ない状態    |  |
| V    | —   | 著しい膨張性の錆が生じており、断面欠損がある状態          | —  |